





「芽登再発見!!」第十四回は地名である 「茂喜登牛」です。

パトロール中、道路上の案内看板を見て、 ふと、気になりましたので調べてみました。 茂喜登牛は、昭和二十二年の字名設定で、 本字が用いられる様になったそうです。 また、地名の由来はアイヌ語であり、

キトウシ(キトウシ)

という意味だそうです。

なお、本紙の熱心な読者であれば、お気 付きと思いますが、キトウシはアイヌ語で、 ニンニク)

ウシ (群生する) という意味であることを念のため、添えさ せていただきます。



26-2151 本別警察署 22-0110 作成者 芽登駐在所員



<mark>ヒグマは | 0月から | |</mark>月にかけて、飽食期(食いだめ)に入り冬眠へ向けて積極的 にエサを求め、周囲への警戒心が薄れてしまい、人間の存在に気付きにくくなります。

また、本別警察署管内は山が多く、遭遇するリスクが高 いので、以下の点にご注意下さい。

- 鈴やラジオで、人の存在を知らせる
- 食べ物やゴミは放置せず、持ち帰る
- 万一に備え、熊スプレーを携行する
- 遭遇しても、落ち着いて行動する





「安全安心なまちづくりの日及び 全国地域安全運動の実施!」

Ⅰ0月11日は、防犯に対する意識と理解を深める事を 通じて犯罪に強い社会の実現を目指す「安全安心なまちづ くりの日」です。

また、全国地域安全運動の期間中は全道各地で、身近な 犯罪を未然に防止するため、様々な活動が行われますので、み なさまの積極的な参加をお願いいたします。

Ⅰ 0 月 Ⅰ Ⅰ (土)~ Ⅰ 0 月 2 0 (月)

なお、北海道警察公式防犯アプリ「ほくとポリス」では特 殊詐欺発生情報等を配信していますので是非御活用ください。







